

亜鉛鉄板の J I S 改正

- ◎ 亜鉛鉄板の日本工業規格 (J I S) が昭和 5 4 年 2 月 1 日に改正され、来たる 8 月 1 日から新しい J I S によって製造されることとなります。
- ◎ ネグロス製品の中にも、ワールドダクター (パイプハンガー)、レースウェイ、ダクト、ミニラック、ワイダーラックなど亜鉛鉄板を使用するものが種々あり、今回の改正の適用を受ける素材を使用することとなります。改正の主な点は、用途別区分の細分化、品質規定のレベルアップ、亜鉛の最小付着量表示の採用などですが、当社使用のものの品質は従来と同等で、品質規定のレベルアップにより、より均質な材料となります。詳しくは J I S G 3302 (1 9 7 9) を御参照願います。
- ◎ 新 J I S による当社使用の亜鉛鉄板は、亜鉛鉄板一般用、記号 S P G C、亜鉛の付着量表示記号 Z 2 7 で、記号は S t e e l (鋼)、P l a t e (薄板)、G a l v a n i z e d (溶融亜鉛めっき)、C o m m e r c i a l (市販)、Z 2 7 は両面の亜鉛最小付着量が板 1 m² 当り 2 7 5 g の意味で、旧 J I S の S P G 3 C、呼び付着量 3 8 1 g 級に相当します。
- ◎ ネグロス製品は正規の J I S 規格材料を用いておりますから、安心して御使用願えます。亜鉛鉄板の最大の特長は、経済的な耐食性鋼板ですから、省資源の立場からも 亜鉛鉄板製品の採用を御検討下さい。外見よりも実質の時代になりました。欧米のケーブルラック、ダクト類は、既に亜鉛鉄板製が主流を占め、省資源に対する真剣さがうかがえます。

(R . S)

ネグロスの亜鉛鉄板製の主な商品

本文 J I S 改正の亜鉛鉄板を使用した主な商品の概要次のとおり。

ワールドダクター (パイプハンガー) 本体 (D - 1 ・ D - 2 ・ D - 3 ・ D - 1 N)、ダクタークリップ、つり金具類を組み合わせ、電線管、丸形ケーブルなどを支持する配管支持金具。

レースウェイ (二種金属製線び) 本体 (D P - 1 ・ D P - 2)、蓋、ジャンクションボックス、エルボほか豊富な部品附属品が揃っています。

金属ダクト (巾 5 c m 以上のもの) 本体 (D P - 3 ・ D P - 7) のほかレースウェイと同様に豊富な部品附属品が揃っています。

ミニラック ・ ワイダーラック、共に一枚板を打抜成型したユニークなケーブルラックで、下からケーブルがみえないので美観の気になる所に最適。梯子状でないので取付が簡単、狭い場所でも設置できる。ミニラックは高 1 0 × 巾 (1 0 0 ・ 1 5 0 ・ 2 0 0) × 長 3 0 0 0 。ワイダーラックは高 5 0 × 巾 (3 0 0 ~ 6 0 0) × 長 3 0 0 0 。